

市民の暮らし最優先

藤岡 善行 議員



▲動画視聴はこちら

市発注の契約について

藤岡 市発注の契約について、「公正・公平」を前提に地元最優先となっているのか。

総務部長 入札指名基準に基づき市内の業者を原則として選定するように運用している。

ごみ処理について

藤岡 家庭から出る粗大ごみについて、自己搬入の場合、家族であるという証明があれば、無料引き取ってもらうのか。

市民生活部長 免許証などを提示いただき、家庭による搬入であることを示していただくと受け入れている状況である。

農業の振興について

藤岡 新規就農者等に予算を計上して支援体制の確保はできないか。

産業経済部長 主力になっているトマト、ブドウに力点をおいて農家支援を行っている。

市民からの要望に対しての対応について

藤岡 市民からの要望に対して、窓口で「財源がない・お金がない」とよく聞かすが、どう考えているのか。

企画財政部長 要望に対する考え方、検討の過程を丁寧に説明させていただく。

強化集中プランをしてまで厳しい行財政改革を進める必要があるのか

平松 久幸 議員



▲動画視聴はこちら

財政見通しと行革の取り組みについて問う

平松 大幅な財源不足の要因は何か。

企画財政部長 歳出面では社会経済情勢の変化による物価高騰や人事院勧告による人件費の上昇等により経常経費が増加している。こうした要因から、地方交付税、市税といった歳入の伸びが追い付かず、財源不足は当初の想定を上回っている。

平松 なぜ、高梁市は強化集中プランとしてさらに厳しい行財政改革を進めないといけないのか。

企画財政部長 高梁市特有の要因としては、経常収支比率が高く財政に余裕がないこと、人口減少に見合ったスリム化が十分に進んでいないこと、さらに、平成30年豪雨災害により基金が大幅

に減少したことが挙げられる。

平松 岡山県が財政危機の時にどのような取り組みがあったのか。

副市長 岡山県では、平成20年には毎年約300億円規模の収支不足となり「財政危機宣言」を発し、集中的な改革を行った。行政の守備範囲や官民の役割分担について、あらゆる事業をゼロベースで見直した。今後はこうした県の視点や取り組みを基に他の自治体の事例も参考にし、本市の施策に取り入れていく。

平松 行財政改革を進める上で、市長自身の覚悟をどのように示されるのか。

市長 私自身の報酬についても、リーダーとして自ら姿勢を見せていくことが不可欠であると考えている。

移住を促進するならば学校の統廃合に矛盾あり

松岡 隆雄 議員



▲動画視聴はこちら

移住・定住と教育環境の整合性について

松岡 移住促進・定住支援を進める一方で、少子化により幼稚園や小中学校の休園・統廃合が進んでいる。これは「子育て世帯を呼び込みたい」という施策と矛盾しているのではないか。

教育長 移住先に環境の整った学校があるのが望ましいが、小規模校ではコミュニケーション力が身につけにくい場合もある。通学手段を確保すれば、協働的な学習ができるなど、より良い教育環境の整った学校もある。現行の配置計画では後者を選んでいる。

他市町村の保育所・幼稚園への通園の実態と支援について

松岡 他市町村へ通う園児の実

態と支援についてどうなっているのか。

教育長 現在、平川地区から5人、西山地区から1人が通園し、保育経費は国・県・市で分担している。おむつ等の経費は市内未就園児と同条件で補助している。

スクールバスの活用について

松岡 スクールバスに園児は乗せられないのか。

教育長 0〜5歳児をスクールバスに乗せると補助員が必要であるが、国は補助を考えていないため実施は困難である。

松岡 保護者負担軽減のため支援を考えていただきたい。

半年間なしのつづて！真摯な態度を示せ、市教委!! 準備委員会はリセットを!!

金尾 恭士 議員



▲動画視聴はこちら

川上中学校区学校再編準備委員会について

金尾 学校園再編準備委員会の第2回が開けないのはなぜか。

教育長 再編後の通学手段の協議に時間を要し、第2回の準備委員会を7か月間開催できなかった。

金尾 保護者・学校・園に状況を連絡するべきではないか。市教委への不信感が募っている。8月18日開催の公共交通会議の資料の中に「令和9年4月に川上中は成羽中に統合」という一文があった。誰が決定し、どのような意図で記載されたのか。

市民生活部長 8月の公共交通会議で、乗合タクシーの導入、生活福祉バスの廃止の見通しを説明している。その中での資料である。

金尾 このような文章が出ることで自体、令和9年4月統合あり

きではないか。

教育長 適正配置計画に基づく提案であり、時期可否については、準備委員会で詰め、同意が得られた時点で決定する。

金尾 準備委員会をリセットしてやり直すことを強く申し入れる。

サル被害対策について

金尾 高梁市のサル被害の対策について問う。

産業経済部長 8月に真庭市で開催された野猿被害対策勉強会に参加した。「地域が一体となって取り組む」ことが必要であることを学んだ。

金尾 今後、高梁市はどのような対策を行っていくのか。

産業経済部長 組織、地域、コミュニティで取り組んでいただくよう啓発していきたい。